多古中 職場体験

～一足先に社会人！～

多古中2年生による毎年恒例の職場体験学習。5月31日から6月2日までの3日間、町内の31事業所で実施されました。118名の生徒全員が参加し、職場体験を行う事業所への事前連絡などを、生徒たち自ら行うなど体験学習に備えました。教室では学ぶことができない“生きた学習”の様子をご紹介します。

多古中央病院から

ツキノワグマについて

文／国保多古中央病院　内科　宇都宮隆法

今年5月以降、東北地方の各地でツキノワグマによるとみられる人的被害が出ています。熊による被害は毎年100名前後の負傷者が出て、数名が死亡しています。その数は思ったよりも多く感じるかもしれません。

ツキノワグマは体重100キロを超える黒い熊で、胸に三日月形の白い模様があります。タケノコやドングリをはじめとして、アリやハチなど群れで生活をしている昆虫や、さまざまな動植物を食べる雑食性の生き物です。

熊は千葉県にはいませんが、九州・沖縄を除いた日本のほぼ全域に出没しており、東日本では狩猟や捕獲を行っていますが、西日本では保護されています。

人間から見て熊が怖いのと同様で、熊も人間に積極的には近づきたがりません。ハイキングや山登りなどでは熊による被害が報告された地域には立ち入らないのはもちろんのこと、鈴やラジオなどの音が出る器具を身に着け、トウガラシの入った熊よけスプレーなども準備し、複数の人数で行動しましょう。

万が一、熊に出会ってしまったら、熊の顔をずっと見つめながら、刺激しないように静かに後ずさりしましょう。持っている食べ物はその場におくと、熊の気が食べ物のほうにそれてくれるかもしれません。

してはいけないことは、刺激をしたり、背を向けて逃げたりすることです。熊は時速40キロメートルで走れますので、足の速さでは人間はかないません。

熊は危険な動物ですが、熊は進んでやってくるのではなく、こちらから熊のすみかに出かけるのだと考え、気を引き締めて行動しましょう。

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などで対応できないこともあるため、受診前に、必ず確認の電話をお願いいたします。☎76－2211

追跡レポート！――この職業・この人たちの24時間

通所介護事業所の一日（デイサービス）

紹介者：武藤　鑑（かん）さん

勤務時間は平日の午前8時30分から午後5時30分までで、7名の職員で働いており、生活相談員・看護職員・介護職員・機能訓練指導員などそれぞれのスペシャリストが利用者の介護にあたっています。通所介護（デイサービス）の業務は、日帰りで施設に通い食事や入浴など生活上の介護や機能訓練等を受けたり、施設で他の利用者と接したりすることで引きこもりや孤立を防ぎ、また介護する家族の負担を軽減することを主な目的としています。

朝、スタッフ間の打ち合わせ後、利用者の迎えに出発します。到着後、体温や血圧測定などの健康チェックを歓談しながら行い、午前は入浴と筋力の低下による寝たきりの防止のための機能訓練を行います。機能訓練は、体のあらゆる部分を使い、頭の体操を取り入れながら、自宅に帰ってもできるように分かりやすいメニューで行っています。

食事については、飽きの来ないような献立、食べやすさや栄養面、味に留意するとともに、事前に※誤嚥（ごえん）を予防するための運動を取り入れています。

午後は、休憩後に簡易な作業やスタッフが自ら考えたレクなど歌を歌ったり、楽しい時間を過ごします。

介護は、どうしても暗いイメージがあるように感じるので、初めて介護サービスを利用する方でも不安に感じないよう明るい雰囲気づくりを心がけています。民家の造りを生かして、自宅で家族と接しているように過ごせるよう女性スタッフならではのきめ細やかなサービスを提供し、利用者とスタッフが皆笑顔で一日を送れることに力を注いでいきたいです。

※誤嚥（ごえん）…飲食物や唾液が誤って気管に入ってしまうこと。

取材協力：㈱ウェルフェアムトウ